

により奇品致拜見何^茂打寄賞嘆仕候併在唐之者共へ如斯珍寶有之段物語仕候共實跡なく空言而已にては信用仕間敷奉存候ニ付此度一二枚拜鑑被仰付度奉願候左候ハ、唐國へ差越數寄者へも賞見爲仕度奉存候仍以書付申上候

明和元年十一月

未申諸湊船頭共連判

右書付之通和解差上申候

林市兵衛印

何幸次右衛門印

〔香道秋の光〕香道具細工所

香道具の細工は常々是を手なれざるの細工人は恰合物好宜からず遠國の人の求めむ爲の便りに京都の細工人を左に記す

香道具人形盤類

京寺町通姉小路西南角 梅本薩摩

金物細工人

京東洞院四條上ル二町目西側 野村藤右衛門

木細工類

京寺町通竹屋町下ル町東側 唐木屋勘兵衛

金物細工類

京大宮西へ入神明町 飾屋四郎兵衛

人形細工人

京押小路通間之町東へ入南側 桔梗屋庄左衛門

同

京河原町姉小路西南角 人形屋半助

〔御家流改正香道秘集〕一雪月花集一卷

右者御家六拾六種之名香其外百三拾種之名香京極道譽所持之名香百七拾七種之名目也御家乞求て志野宗信寫し家に傳る書也

一志野宗信筆記一卷